

人間社会学部／社会福祉コース	職名	講師	氏名	宮原 和沙
----------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

- ・長崎純心大学大学院人間文化研究科人間文化専攻博士後期課程修了・博士（学術・福祉）
- ・主な資格：社会福祉士，精神保健福祉士，介護福祉士，高等学校教諭専修免許状（福祉）（更新講習未講習），高等学校教諭一種免許状（公民）（更新講習未講習）等．
- ・研究分野：社会福祉学，生命倫理学．
- ・人間の生命（いのち）の始まりと終わりに関する研究（例えば、生殖補助医療に関する福祉倫理学的研究や患者の尊厳ある生や死へのソーシャルワーク・アプローチ等について）や、医療福祉に関する研究，第二次世界大戦後の引揚げ女性への非合法の中絶に関する女性福祉論の研究等を行っている．

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・宮原和沙（2021）「(研究報告) 社会福祉士国家試験受験科目である『相談援助の基盤と専門職』の授業におけるアクティブラーニング導入とその評価」, 徳島文理大学研究紀要第 101 号, pp29-34. 単著. [査読有]
- ・桃井克将, 宮原和沙（2021）「(研究資料) 先行研究にみる精神保健福祉士養成課程におけるアクティブ・ラーニングと今後の展開」, 別冊 総合人間科学 3, 総合人間科学研究学会, pp93-97.
- ・宮原和沙（2022）「地域医療における医療ソーシャルワーカーの役割」, 日本メディカルセンター, 臨牀透析 Vol.38 No.3, pp.71-75.
- ・松本 華穂, 石井 有美子, 宮原 和沙, 田中 祐子, 郷木 義子, 貴志 知恵子, 竹内 理恵, 中村 雅子, 奥田 紀久子（2022）「大学生における月経セルフケア行動の実態と情報源との関連」, 教育保健研究, No.22, 11-22. [査読有]
- ・白山靖彦監修・執筆, 志水朱, 志水幸, 二渡努, 小口将典, 北村美渚, 稲田和也, 松本望, 五十嵐教行, 柳沢志津子, 宮原和沙, 木村淳也, 添田正揮, 川島恵美, 木村志保, 中村裕子, 市川哲雄, 下山美由紀, 季木明德, 後藤崇晴, 木下一雄, 大宮秀淑, 長谷川武史, 古川奨, 種村理太郎, 薄井明, 山下匡将（2023）『社会福祉士養成 基本テキスト 国試対応 第1巻（第2版）』（分担執筆／「第4章 ソーシャルワークの発展過程 第1節 慈善組織協会（Charity Organization Society: COS）, 第2節 リッチモンドの活動, 第3節 セツルメント, 第4節 ケースワークの発展, 第5節 ソーシャルワークの形成過程」）, 日総研出版, pp. 56-71.
- ・桃井克将, 宮原和沙（2024）「ソーシャルワークを多角的に学ぶアクティブ・ラーニング—巨大紙飛行機づくりから—」, 『児童学研究』第 48 巻, 日本家政学会児童部会, 2024 年 3 月 15 日, pp.49-52.
- ・宮原和沙（2024）「医学史的観点からみる第二次世界大戦後の引き揚げ女性に行われた非合法中絶」, 『医学史研究』第 105 号, 2024 年 3 月, pp.51-55.

- 宮原和沙 (2024) 「(論文) 第二次世界大戦後引揚げ女性に行われた非合法の中絶に関する研究 (3) - 第三の引揚げ港に関する女性福祉の観点からの一考察 - 」, 『純心福祉文化研究』2023 第 17 号, 2024 年 3 月 31 日, pp,1-6. 単著. [査読有]

②その他最近の業績

<学会発表>

- 薄木公平, 宮原和沙 (2021) 「障害福祉サービス事業の継続性を確保するための円滑な事業譲渡方法について～ある事業譲渡事例を通して～」, 第 29 回日本社会福祉士会全国大会社会福祉士学会 (山形大会), 権利擁護/生活構造/相談援助/福祉経営 分科会, オンライン開催.
- 宮原和沙, 桃井克将 (2021) 「徳島県における地域包括ケアとデジタルトランスフォーメーションの現状と課題」, 第 4 回徳島県地域包括ケアシステム学会 学術集会, 抄録集, p.18, 示説発表, 徳島大学蔵本キャンパス 大塚講堂・ライブ配信 (ZOOM 開催).
- 宮原和沙, 桃井克将 (2021) 「ニューノーマルな実習指導」, SPOD (四国地区大学教職員能力開発ネットワーク) フォーラム 2021, オンデマンド・セッション, 高知大学, ZOOM 開催.
- 松本 華穂, 奥田 紀久子, 田中 祐子, 石井 有美子, 宮原 和沙, 郷木 義子 (2021) 「女子大学生の月経セルフケア行動獲得の実態と関連要因」, 学校保健研究, Vol.63, No.Suppl., 108.
- 宮原和沙, 桃井克将 (2022) 「専門課程における初年次教育は、如何にあるべきか?」, SPOD (四国地区大学教職員能力開発ネットワーク) フォーラム 2022, 示説発表, 愛媛大学, ZOOM 開催.
- 宮原和沙, 桃井克将 (2022) 「ヤングケアラーに対する社会福祉士の役割における福祉倫理的考察」, 第 5 回徳島県地域包括ケアシステム学会 学術集会, 抄録集, p.17, 示説発表, 徳島大学蔵本キャンパス 大塚講堂・ライブ配信 (ZOOM 開催).
- 宮原和沙, 桃井克将 (2023) 「地域共生社会の時代におけるダブルケアの現状と課題-もう一つのダブルケアについて-」, 第 6 回徳島県地域包括ケアシステム学会 学術集会, 抄録集, p.22, 示説発表, 徳島大学蔵本キャンパス 大塚講堂.

③過去の主要業績

- 宮原和沙 (2006) 「粕谷甲一のキリスト教福祉思想の一考察」, 長崎純心大学大学院人間文化研究科 『人間文化研究第 4 号』, pp.29-41. [査読有]
- 宮原和沙 (2007) 「『ヒト胚の倫理的身分』についての福祉哲学的考察」, 長崎純心大学大学院人間文化研究科 『人間文化研究第 6 号』, pp.9-28. [査読有]
- 宮原和沙 (2018) 「(短報) ソーシャルワークの一技法としてのスヌーズレンの位置付けに関する考察-社会福祉士の立場から, ISNA 日本スヌーズレン総合研究所・『スヌーズレン教育・福祉研究第 2 号』, pp.76-80. [査読有]

3. 外部研究資金

4. 受賞

5. 所属学会

日本社会福祉学会，徳島県地域包括ケアシステム学会，中国・四国学校保健学会，福岡県立大学社会福祉学会

6. 担当授業科目

精神保健福祉演習・1単位・2年後期，ソーシャルワークの理論と方法 E・2単位・3年前期，精神保健福祉援助演習・4単位・3-4年通年，精神保健福祉援助実習指導・3単位・3-4年通年，精神保健福祉援助実習・5単位・3-4年通年，福祉専門職特講 B・2単位・4年前期（メディア授業）。※2023（令和5年）度の精神保健福祉援助演習，精神保健福祉援助実習指導，精神保健福祉援助実習は、4年生は旧カリキュラム，3年生は新カリキュラムでの実施。単位数等は新カリキュラムを記載。

7. 社会貢献活動

日本社会福祉学会 研究倫理委員会委員（令和6年5月までの予定）

8. 学外講義・講演

9. 附属研究所の活動等